

第14回新生児内分泌研究会 学術集会のご案内

演題応募

新生児内分泌に関わる診療や研究についての一般演題を公募させていただきます。2023年9月20日までに「演題名・氏名・所属・800字以内の抄録」を事務局(ktoyoshima@kcmc.jp)までE-mailにてお申し込みください。皆様のご参加をお待ちしております。
(現地開催です。ハイブリッド配信の予定はございません。)

日程 2023年11月26日(日)

時間 10時～17時

会費 3,000円

場所 ラジオ日本クリエイト
〒231-8611 神奈川県横浜市中区
長者町5丁目85番地 三共横浜ビル3F

特別講演1

「胎児期の電解質の調節機構から早産児の電解質管理を考える」
京都大学大学院医学研究科新生児学講座特定教授
河井昌彦

特別講演2

「ステロイド製剤の心機能血行動態への影響を考える」
神奈川県立こども医療センター周産期医療センター長
豊島勝昭

問い合わせ先

第14回新生児内分泌研究会学術集会
当番幹事 豊島勝昭[神奈川県立こども医療センター 新生児科]
E-mail:ktoyoshima@kcmc.jp

第14回新生児内分泌研究会プログラム

10:00 開会の挨拶 豊島勝昭(神奈川県立こども医療センター)

10:05- 講演1 (座長:東海大学 内山 温)

一過性低サイロキシン血症 (THOP) の病態生理 (京都大学 河井昌彦)

11:00-11:40 一般演題1

(座長:大阪府立母子医療センター 平野慎也 あいち小児保健医療総合センター 濱島 崇)

・新生児期の甲状腺機能低下症における FT3/FT4 比の検討 (京都大学 山内建)

・超低出生体重児の胎便関連性腸閉塞に対するヨード含有造影剤投与後の

尿中ヨードと甲状腺機能の推移 (神奈川県立こども医療センター 下風朋章)

・新生児遷延性肺高血圧症を発症した新生児バセドウ病の一例 (姫路赤十字病院 清水聖二郎)

13:00 講演2 (座長:岡山大学 鷲尾洋介)

胎児期の電解質の調節機構から早産児の電解質管理を考える (京都大学 河井昌彦)

13:55 一般演題2 (座長:大阪府立母子医療センター 川井正信 慶應大学 原 香織)

・早産児の FENa に基づいた Na 過剰投与症例の検討 (京都大学 森下 岳)

・原因不明の SGA 性低身長症 140 名における (epi) genetic な要因の解明

(慶應義塾大学 原 香織)

・早期乳児期におけるビタミン D の季節性は、生後 2 か月から顕在化する

(慶應義塾大学 森澤和美)

14:45 講演3 (座長:神奈川県立こども医療センター 豊島勝昭)

新しい低出生体重児用発育曲線の使い方と体格予後

(国立成育医療研究センター 小児慢性特定疾病情報室 盛一享徳)

15:15 一般演題3 (座長:姫路赤十字病院 五百蔵智明 京都大学 友滝清一)

・著明な腹部膨満を呈し endocrine emergency と判断した新生児の一例

(横浜市立市民病院 石田優香、木下眞里)

・早産児の HRG 調査:出生後の推移に関する報告 (岡山大学 森本大作)

・出生前ステロイドの極低出生体重児出生後早期における循環に与える影響

(埼玉医科大学総合医療センター 石黒秋生)

16:55 講演4 (座長:京都大学 河井昌彦)

ステロイド製剤の心機能血行動態への影響を考える

(神奈川県立こども医療センター 豊島勝昭・下風朋章)

16:55 閉会の挨拶 河井昌彦 (京都大学)

(一般演題は発表7分 討議5分)